

3月定例会 議員団が子育て支援2条例などを提案

18歳まで医療費無料化、学校給食費の無償化めざす案 うじ未来・自民・公明・維新などが反対

日本共産党宇治市会議員団は、市議会3月定例会で、「物価高騰が続く中で、宇治市が、住民の福祉増進を図る自治体本来の役割を果たすべき」、「市民の暮らしを守る独自施策を実施すべき」と、子育て支援のための二つの条例案と国民健康保険料を据え置く修正案を提案しました。

採決で、党議員6名と佐々木議員のみが賛成し、うじ未来、自民、公明、維新などの反対多数で否決さ

れました。

市の2025年度予算案は、小中一貫校と給食センターの建設などの予算が約65億円増えたことなどで、一般会計は過去最大の約841億円でした。

しかし、暮らしと営業を支える施策は不十分であったため、党議員団は予算案に反対しました。

党議員団は、提案した条例案など、市民の暮らしと営業を支える市政の実現を目指し全力をあげます。

議事内容		結果	共産	うじ未来	自民	公明	宇治党 蒼の会	無会派 (荻)	無会派 (佐)	無会派 (維新)
2025年度 一般会計予算		可決	×	○	○	○	○	○	×	○
議 会 議 案	1号 宇治市子どもの医療費支給に関する条例を制定するについて	否決	◎	×	×	×	×	×	○	×
	2号 宇治市立学校の学校給食費の助成に関する条例を制定するについて	否決	◎	×	×	×	×	×	○	×
宇治市国民健康保険料の条例を改正する修正案		否決	◎	×	×	×	×	×	○	×

◎印＝提案・賛成 ○印＝賛成 ×印＝反対 うじ未来議員(松峯、真田、服部、今川、岡本、西川(友)、角谷) 自民議員(堀、中村、木本、西川(康)、渡辺)、公明議員(関谷、鳥居、稲吉、西川(美)、西岡) 宇治党・蒼の会議員(金ヶ崎、加勢)、無会派:(荻)荻原議員、(佐)佐々木議員、(維新)藤田議員

城南衛生管理組合の「循環型社会推進会議 『ごみ有料化』の提言

市民努力をかえりみず、安易な「ごみ有料化」など許されない

城南衛生管理組合(以下、「組合」)は、宇治市など3市3町(宇治市、八幡市、城陽市、久御山町、宇治田原町、井手町)のごみを処理しています。

「組合」は2024年度に、今後のごみ減量を考えるためなどとして、「循環型社会推進会議」(以下、「会議」)を設置しました。

「会議」は、25年3月に「ごみ減量施策に係る提言について」(以下、「提言」)を提出しました。

「提言」の5項目のうち、「経済的インセンティブの活用」のなかで、◇資源化できるものは可能な限りごみ分別の徹底を図るため、住民の理解を十分に得な

がらごみの有料化を進めるべき。◇有料化で得られた財源による住民サービスの向上等への活用方法。とされていました。

宇治市は「有料ごみ袋制の導入」について、見解を問う党議員団に対し、「『組合』の『会議』の経過を見守る」と答弁してきました。

宇治市では、市民の分別・減量化の努力により、ごみの減量とリサイクルが進んでいます。

市民の取組と現状をかえりみず、安易に経済的インセンティブの活用として有料化をするなどは許されません。

日本共産党
宇治市会議員団

議員団だより 2025年4月6日号
宇治市宇治琵琶33 宇治市議会内
TEL: 0774-22-3141(内線 2817)
FAX: 0774-24-7884

議員団へのご意見・
ご相談はQRコードより

